

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう!

Information

参加者・演題募集中

助成公募

勇美記念財団在宅医療

助成公募(後期)

締切12月12日

2011
年度

受付期間:10月3日(月)～
12月12日(月)消印有効

【助成内容】

1. 在宅医療研究

総額:3300万円(件数未定)

研究期間:1年間(2012年2
月～2013年2月末)

2. 市民講座開催

総額:780万円(1件当たり上
限30万円)

開催期間:2012年2月～
2012年8月末

3. 死亡援助の剖検報告

総額:150万円(1件当たり上
限30万円)

研究期間:本年12月19日から1年
間に論文提出

詳細:ホームページ参照

事務局(中山純彦、磯崎慶、中
山恵美子、菅野裕子)

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-5-1全
共連ビル麹町館

☎03-5226-6206

FAX 03-5226-6206

✉ Myumizaidan@nifty.com

http://www.zaitakuiyo-yuu
nizaidan.com

リンパ浮腫ケア

第8回日本医療

リンパドレナージ

協会学術大会

10月8日/東京

参加者
募集

日時:10月8日(土)10時～16時半

会場:東京国際交流会館「プラザ

平成」(東京都江東区)

テーマ:リンパ浮腫の現状と展望

～原発性と続発性

プログラム:基調講演「続発性リ

ンパ浮腫について」小川佳宏(リ

ムズ徳島クリニック院長)・「原発

性リンパ浮腫について」笹嶋唯博

(旭川医科大学副学長)／特別講

演「日本におけるリンパ浮腫治療

について」重松宏(国際医療福祉

大学教授)／シンポジウム「リン

パ浮腫を取り巻く環境とさまざまな

立場から」笹嶋唯博・小川佳宏・

森洋子(リンパ浮腫患者グループ

あすなろ会会長)・大島寿美子(婦

人科がんのサポートグループアス

パラの会)・山本優一(北福島医療

センターリハビリテーション科)

／デイスカッション

参加費(当日):会員4000円、

一般5000円、懇親会6000

円別途

申込み:専用申込用紙による

【日本医療リンパドレナージ協

会

〒233-0033

横浜市中区長者町5-85明治安田

生命ラジオ日本ビル4F

☎045-325-9891

☎045-325-9892

http://www.mia.jp/

デス・エデュケーション

第35回日本死の臨床

研究年次大会

10月9・10日/千葉

参加者
募集

日時:10月9日(日)・10日(祝)

会場:幕張メッセ国際会議場(千

葉市幕張)

テーマ:いのちの支えー生と死

その苦悩と癒し

プログラム:(10月9日)会長講演

1「私のいのちの支え」林章敏(聖

路加国際病院緩和ケア科医長)／

特別講演「いのちを生きた」とは

日野原重明(聖路加国際病院理事

長)／シンポジウム1「看取りー

最期を迎えるということ」山本雅

基(希望の家庭理事長・施設長)・太

田秀樹(おやま城北クリニック院

長)・藤腹明子(淑徳大学客員教授)

／総会講演「かけがえない学び

ー死の臨床を通して」渡辺正(東

海中央病院院長)／教育講演1「最

期まで希望をもって生かされる

か」清水哲郎(東京大学大学院人

文社会科学研究科)／教育講演2「い

のちの癒しー末期がん患者の心の

叫びとケア」沼野尚美(宝塚市立

病院緩和ケア病棟チャブレン)／

シンポジウム2「自殺／自死問題

の現状と対策」今私たちがすべき

こと」河西千秋(横浜市立大学医

学部精神医学准教授、日本自殺予

防学会理事)・川野健治(国立精

神・神経医療研究センター精神保

健研究所、自殺予防総合対策セン

ター室長)・南部節子(全国自死遺

族総合支援センター事務局長)／

シンポジウム3「子どものホスピ

スーその理念と歴史、我が国にお

ける展望」前田浩利(あおぞら診

療所新松戸)・富和清隆(東大寺福

祉療育病院)・佐々木健一郎(そ

らぶちキッズキャンパ、キャンパ

ダイレクター)・甲斐裕美(VIV

ACE代表)／ワークショップ1

「あなたはひとりではないー音楽

のなかでお互いに共存すること

とは」新倉晶子(日本赤十字社医療

センター音楽療法士)／特別企画

講演「被災者の心に寄り添う復興

をー東日本大震災の現場から」野

田正彰(関西学院大学教授)／ラ

ンチョンセミナー「院内学級の

こともたちが教えてくれた大切な

ことー院内学級担当」ホスピタル

クラウンの活動を通して」副島賢

和(昭和大学病院内さいかち学級

担任・学校心理士)・2「いのちを

支えるデス・エデュケーションー

受講学生のメッセージから」鈴木

康明(東京福祉大学心理学部教

授・悲嘆学研究所所長)・3「リン

パ浮腫のケア」水町ゆかり(大学

病院の緩和ケアを考える会事務

局、広田内科クリニックリンパ浮

腫セラピスト)・4「健康と病いの

語りデータベースとはー病を生き

る人々の語り」射場典子(健康と

病いの語りディベックス・ジャパ

ン理事)・5「チームの一員として

のチャプレンの関わり―その役割、実際の関わり、スピリチュアルケアの考え方など」上田憲明(聖路加国際病院チャプレン司祭)。

〈10月10日〉会長講演2「ピアサポーター」として死を語る仲間」小松浩子(慶応義塾大学看護医療学部教授)／教育講演3「人として生きる」柏木哲夫(金城学院学院長・

大学長)／教育講演4「死は真(まこと)の人生のはじまり」柳田邦男(ノンフィクション作家・評論家)／シンポジウム4「事例から考えるスピリチュアルケアの実践」大下大圓(飛騨千光寺住職、京都大学大学院医学研究科非常勤講師)・窪寺俊之(聖学院大学大学院教授)・田村恵子(淀川キリスト

教病院主任看護課長・がん看護専門看護師)・村田久行(京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科特任教授)／特別企画鼎談「くらしをサポートする災害支援―今、被災者をどう支えるか」黒田裕子(阪神高齢者・障害者支援ネットワークワーク理事長・長尾和宏(長尾クリニック院長・矢津剛(矢津内科消化器科クリニック院長)／市民公開講座「いのちの川」山崎充哲(おさかなポストの会代表)・2「鳥越俊太郎の死生観鳥越俊太郎(ジャーナリスト)／ワークショップ2「教育研修会」看取りのケアにおけるクリティカルパス―LCP(看取りのパス・リパ

ブル・ケア・パスウェイ)日本語版の使用方法和使用の実際宮

下光令(東北大学医学部保健学科学教授)

日本死の臨床研究会本部事務局〒187-00012

東京都小平市御幸町13-15ゲアタウン小平内

042-315-1195

042-315-2709

office@jard.info

http://www.jard35.com/

退院調整
養成研修

10月28・29日／東京

参加者募集

テーマ：病院と地域のスムーズな連携作り

日時：10月28日(金)・29日(土)

会場：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル(東京都渋谷区)

プログラム：退院調整とは／ケアマネジメントと退院調整 院内チームと地域連携システムづくり

／退院調整看護師の役割と機能

篠田道子(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授)／「訪問看護師が行う退院調整」広川直美(チーエステーション東京目黒支店管理者)／「退院調整が求められる背景」政策の動向／在宅医療・訪問看護の概要と活用方法

山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センター長)／「退院調整の実際と院内外のシステム構築」事例より」宇都宮宏子(京都

大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部看護師長)／「退院調整のシステム構築・アクションプラン作成(グループワーク)」発表・まとめ」山田雅子・宇都宮宏子・上野桂子(聖隷福祉事業団理事・顧問)／全国訪問看護事業協会常務理事)

対象：病院・施設・地域で勤務する看護師

定員：約180名

参加費：会員1万2000円、非会員2万円

申込み：ホームページより申込書を印刷し、FAXまたは電話を印刷し、FAXまたは電話

03-3351-5898

03-3351-5938

http://www.zenhokan.or.jp/

看護大学生対象
第18回訪問看護
セミナーin仙台

11月5日／仙台

参加者募集

日時：11月5日(土)10時～15時半

会場：TKP仙台カンファレンスセンター(仙台駅西口徒歩3分)

プログラム：基調講演「訪問看護に必要な知識・技術について」叶谷由佳(山形大学医学部看護学科)／ランチ交流会／事例や研修を通じて「新卒訪問看護の学び」座長・安斎由貴子(宮城大学看護学部)

参加費：無料(軽食ドリンク付)

申込み：ホームページより

セコム医療システム訪問看護ステーション看護部

03-5775-8032(平日9～18時)

http://www.nurse-sec.com/

小児訪問看護
小児訪問看護研修会
小児を支える
訪問看護の実際

11月12日／東京

日時：11月12日(土)10時～17時15分

会場：AP浜松町(東京都港区)

対象：訪問看護ステーション管理者・従事者の方

定員：約80名

目的：訪問看護における小児の疾患と病態生理を理解する。小児看護の基本を理解する。事例をとおし訪問看護の実際を理解する。諸制度を理解する。

プログラム：①10～12時「小児の疾患と病態生理の理解」(講師：心身障害児総合医療療育センターむらさき愛育園小児科医長中谷勝利氏)・②13時昼食休憩

③13～15時「小児看護の基本的理解」(講師：東京小児療育病院小児看護専門看護師倉田慶子氏)

④15時15分～17時「訪問看護ステーションにおける小児看護の実際(事例報告)」(講師：川崎大師訪問看護ステーション管理者島田珠美氏)・閉会17時15分

参加費：会員6000円、非会員1万8000円

申込み：ホームページより申込書を印刷し、FAXまたは電話

03-3351-5898

03-3351-5938

http://www.zenhokan.or.jp/

5セミナー同時開催
日本訪問看護振興財団
集中セミナー

11月12日／東京

日時：11月12日(土)

会場：ベルサール神田3F(東京都千代田区)

1. 栄養管理と摂食嚥下ケアセミナー

プログラム：低栄養の医学的知識、早期発見のためのアセスメント／摂食嚥下機能のアセスメントと訓練／栄養補助食品を含めた調理の工夫とレシピ

講師：吉田貞夫(北中城若松病院医師)・小山珠美(東名厚木病院摂食嚥下療法部課長)・田村佳奈美(福島労災病院、管理栄養士・在宅栄養アドバイザー)

2. 認定看護師のための

プログラム：災害看護とは／報告会・グループディスカッション等

講師：早野貴美子(自衛隊中央病院高等看護学院教務主任)・斎藤裕基(あゆみ訪問看護ステーション管理者)

参加費：無料(軽食ドリンク付)

申込み：ホームページより

申込みに必要な資料を提出し、FAXまたは電話

03-3351-5898

03-3351-5938

http://www.zenhokan.or.jp/

日本訪問看護振興財団

集中セミナー

11月12日／東京

日時：11月12日(土)

会場：ベルサール神田3F(東京都千代田区)

1. 栄養管理と摂食嚥下ケアセミナー

プログラム：低栄養の医学的知識、早期発見のためのアセスメント／摂食嚥下機能のアセスメントと訓練／栄養補助食品を含めた調理の工夫とレシピ

フアシリテーター：災害支援経験者

※申込み時「認定領域」明示のこと
参加費：会員5000円、非会員7000円

3. HPN（在宅中心静脈栄養法）管理セミナー

プログラム：在宅中心静脈栄養法／医療機関から在宅管理に向けての指導方法と支援体制／管理上のポイント、偶発症への対応／CVポート穿刺演習

講師：佐藤巳喜大（龍ヶ崎済生会病院消化器内科医師）

4. 訪問看護実践セミナー

プログラム：研究発表の事例を通してプロセスを学ぶ／研究発表2題など

講師：上野まり（財団事業部長）

発表者：小枝美由紀（たまつ訪問看護ステーション）・木村久美子（小笠原訪問看護ステーション管理者）

5. 多職種連携セミナー／安全に医療的ケアを提供するためには

プログラム：喀痰吸引等医療的ケアを要する利用者の看護の実際／訪問看護師の役割・ケアマネジャー・ホームヘルパー等の他職種との連携／喀痰吸引等医療的ケアを伴う利用者の介護と他職種連携／喀痰吸引等医療的ケアを要する利用者のケアマネジメントと他職種協働ポイント

講師：安藤真知子（在宅ケアセンター）ひなたばっこ代表取締役・沢座まり子（みずべの苑訪問介護

事業所管理者・柴山志穂美（グッドライフ居宅介護支援センター）

代田ケアマネ総合管理者）

同日訪問看護振興財団

T150-00001

渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F

☎03-5778-7005

☎03-5778-7009

<http://www.jnfr.jp/>

がん看護

NPO法人がん医療

研修機構

第11回オンコロژی

セミナー

参加者募集

11月12日／東京

日時：11月12日（土）9時半～17時

会場：日本教育会館（東京都千代田区）

テーマ：個別化治療とチーム医療
オーダーメイドで最大限の治療効果を発揮するためには

プログラム：シンポジウム1「各

がん種と個別化治療」特別講演

1「がん治療におけるDDS」／

ランチョンセミナー「がん治療を

支える口腔ケア」多職種連携によ

る取り組み」特別講演2「新薬の

開発と個別化治療」シンポジ

ウム2「個別化治療とチーム医療」

／副作用対策「難治性下痢の看護」

／新薬アップデート「ドラッグデ

リバリーシステム」

参加費：会員4000円、

非会員7000円

国事務局

T105-0004

東京都港区新橋2-20 新橋駅前

ビル1号館

☎03-3575-0181

☎03-3575-4748

✉mh_muzununa@kk-kyowa.co.jp

介護技術

第2回オールジャパン

ケアコンテスト

(AJCC)

11月15・16日／鳥取

選手募集

日時：11月15日（火）16日（水）

会場：夢みなとタワー（鳥取県境港市竹内団地225-13）

入場料：無料（懇親会5000円別途）

テーマ：介護有資格者がお互いに刺激しあい介護力を高める、生きがいや知識、技術の向上を目指す

と同時に地域の方々に介護への関心を深めることを目指す

プログラム：（1日目）前夜祭。

地域の物産販売とバザー／記念講演

演「介護保険制度の改正」廣江研（こうほうえん理事長）・川尊

徹ある排泄ケア／田中とも江（お

むつ減らし研究学会・拘束廃止研

究所）

（2日目）講演「認知症ケアに必要

な疾患の知識と今後期待される早

期ケア」浦上克哉（鳥取大学医学

部教授／コンテスト・実技・ディ

スカッション

※コンテストでは、介護職従事者が選手として参加「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」の5分野の課題に応じた介助技能の披露。専門のアドバイザーによる審査、評価を行ない、優秀者を選考。

【選手募集】

対象者：介護有資格者（介護福祉士・ヘルパー・看護師。役職者以外）、先着70名
選手参加費：5000円（懇親会費は別途）

選手締切：10月15日（土）

主催：社会福祉法人こうほうえん（廣江研理事長）

社会福祉法人こうほうえん施設長（荒井祐二）

T684-0063

鳥取県境港市誠道町2083

☎0859-45-6781

☎0859-45-6785

✉Maraiya@koho.jp

災害対策

第7回在宅医療推進

フォーラム

11月23日／東京

参加者募集

日時：11月23日（水・祝）

会場：JA共済ビル カンファレンスホール（東京都千代田区）

テーマ：震災と在宅医療／震災から学ぶ在宅医療のミッション

プログラム：「一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会・訪問看護ステーション連絡協議会による協働活動報告会」／「在宅医療

体制構築に係る視診（案）」鳥羽研二（国立長寿医療研究センター病院長）／「在宅医療を推進する11団体の共同声明」鈴木央（鈴木内科医院副院長）／基調講演「震災と在宅医療・地域包括ケア」小山剛（高齢者総合ケアセンターこぶし園総合施設長）／シンポジウム「震災から学ぶ在宅医療のミッション」佐藤保生（診療所在宅医療所長）・三村路子（キャンパス本部コーディネーター）・黒田裕子（阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長）・佐藤保（日本歯科医師会常務理事・永井康徳（ゆうの森理事長）・武田俊彦（厚生労働省保険局総務課長））コメントーター

定員：400名
申込み：専用申込用紙をFAXまたはメールにて

問事務局（菅野裕子、中山恵美子）

T102-0083

東京都千代田区麹町3-5-1

全共連ビル麹町館4階

☎03-5226-6266

（平日9～17時半）

☎03-5226-6269

✉myunizaidan-forum2011@mbnifty.com

<http://www.zaitaikuryo-yuunizaidan.com/>